

編集後記

『語文と教育』第二十八号をお届けいたします。

本号は、国語科教育八編、国文学、漢文学、国語学（日本語学）各一編の計十一編構成となりました。それぞれ問題意識やアプローチは異なりますが、いずれも教育・研究への熱実な態度が基底にあるものと思います。多様な分野からのご投稿に深謝致します。

二〇一四年三月をもちまして、国語学（現代語）担当の茂木俊伸先生が転出されました。二〇〇五年四月のご着任から数えて、本学には九年間おられたこととなります。本学に極めて重大な貢献をされたことについては、多言を要しません。心より御礼申し上げます。新天地におかれましても、益々のご健勝をお祈り致しております。

『語文と教育』の「鳴門教育大学機関リポジトリ」への登録申請をしてくだされたのも茂木先生でした。機関リ

ポジトリとは、「教員・職員・学生の作成した教育・研究の成果等を保存し、インターネットを通じて無償で発信・提供する仕組み」（本学図書館HP）のことです。『語文と教育』も前号より、ウェブ上での閲覧が可能となりました。

すなわち、新たな外部記憶装置としてのアーカイブ（書庫）の一隅に、本誌もそつと加えられたこととなります。これにより、本誌の（読まれ方）は大きく変質します。本誌を閲覧していただけの機会が増えるだけではなく、それは読者の身体感覚、解釈行為のレベルに及ぶことでしょう。

最後になりましたが、この一年も多くの大学・機関・研究会等より本学会宛に紀要・会誌等の研究資料をご寄贈いただきました。冊子体の意義が変わりゆく時代にあります。本学の書架に大切に保管し、教育・研究に活用させていただいておりますことをご報告致します。謹んで御礼申し上げます。

（黒田記）

語文と教育 第二十八号

平成二十六年八月三十日印刷
平成二十六年八月三十日発行
（非売品）

編集人 鳴門教育大学国語教育学会

発行人 鳴門市鳴門町高島字中島七四八

（〒七七二一八五〇二）

鳴門教育大学

言語系コース（国語）内

鳴門教育大学国語教育学会

会長 村井万里子

印刷所 協徳島印刷センター